

生体情報を活用した リハビリテーション支援システム

松田 鶴夫
環境技術研究所 教授

【キーワード】 手指リハビリテーション、アシスト装具、
QOL支援

【研究概要】

本研究室では、手指麻痺患者の機能回復を目的とするシステム開発を行っています。
桜十字病院福岡等と共同で研究を行っており、今後の発展が期待できます。

手指リハアシストグローブ

LabVIEW...外部システムとの接続が容易
市販の手指リハアシストグローブへ接続、制御 Assist Glove

Bluetooth

手指データ取得、制御信号の生成

麻痺側の手指の開閉アシストが可能

従来のリハ

ミラーセラピー <https://item.rakuten.co.jp/abilities/1000495/>
視覚的な刺激と外部からの刺激
同時に与えることが可能

組み合わせ

機能残存側 麻痺側 (グラブ装着)

手指情報の非接触接触取得システム

- ・ 十指の屈曲運動定量化、記録・抽出・評価
- ・ 被験者間のデータ比較
- ・ 手指リハアシストグローブとの接続、制御